

# Takara standard

## 電気温水器 取扱説明書

保証書別添

「深夜電力8時間（通電制御型）」 /  
「時間帯別電灯（通電制御型）」 切替型

品番
EM-3714KU
EM-4614KU
EM-3714KUL 【漏水検知仕様】
EM-4614KUL 【漏水検知仕様】



### もくじ

#### ご使用の前に

安全上のご注意	2
ご使用にあたってのお願い	4
各部の名称と働き	5
準備	8

#### ご使用方法

湯温設定	9
おたすけコックの使いかた	10

#### メンテナンス

凍結予防のしかた	11
停電・断水・水道工事のときは	11
使用しないときは	12
日常のお手入れ	14
定期点検のおすすめ(有料)	17

#### こんなときは

よくあるご質問	18
故障・異常の見分けかたと処置方法	19
仕様	21
事業所設置の際の規定事項	22
アフターサービス	裏表紙

このたびは、タカラスタンダード 電気温水器 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- ◆ご使用前に、この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
特に、「安全上のご注意」については、ご使用前に必ずお読みいただき安全にお使いください。
- ◆この取扱説明書は工事説明書とともに、いつでもご覧になれるところに大切に保管してください。
- ◆保証書に販売店名、お買い上げ日などが記入されていることを、必ずお確かめください。

#### お知らせ

- ・この電気温水器を時間帯別電灯契約で使用する場合、別売のコントローラ(コントローラEM-1)が必要です。
- ・この電気温水器を深夜電力(8時間)契約で使用する場合、ご希望により別売のコントローラ(コントローラEM-1)を接続して使用することもできます。
- ・別売のコントローラ(コントローラEM-1)をご使用の場合、操作方法など詳細は、コントローラEM-1の取扱説明書でご確認ください。

#### 事業者様へのご案内

高圧力型電気温水器を一般家庭以外(事業所等)でご使用の際には、諸条件が義務づけられています。  
詳しくは22ページをご覧ください。

この温水器は申請により、通電制御型として料金割引が適用になります。(契約電力制度によっては、料金割引がない場合もあります。)ご使用前に、必ず最寄りの電力会社営業所または据付工事店にご確認してください。取替え設置の場合でも、忘れずに確認してください。  
適用機種にはそれぞれ、右記のマークが表示されています。



# 安全上のご注意 必ずお守りください

- ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結びつくものです。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。
- 表示内容を見逃して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を次の表示で説明しています。

<b>警告</b> 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容。	<b>注意</b> 誤った取扱いをしたときに、傷害を負う可能性、および物的損害の発生が想定される内容。
--	--

■お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。

<b>禁止行為(してはいけないこと)</b> 絶対に行わないでください。	<b>行為の指示(必ずすること)</b> 必ず指示に従って行ってください。
---	--

## 警告

### 電気温水器本体

<b>アース工事されているか確認すること</b> 故障や漏電の時に感電の原因になります。アースの取り付けは販売店にご相談してください。 <small>アース線 接続</small>	
<b>絶対に分解・修理・改造しないこと</b> 火災、感電、けがの原因になります。修理は販売店にご相談ください。 <small>禁止</small>	<b>温水器の近くにガス類や引火物を置かないこと</b> 発火の原因になります。 <small>禁止</small>
<b>漏電しゃ断器は濡れた手で操作しないこと</b> 感電の原因になります。 <small>禁止</small>	<b>前面カバーを開けないこと</b> 感電の原因になります。 
<b>逃し弁点検時は、配管や膨張水の排水ホースに手をふれないこと</b> やけどの原因になります。 <small>禁止</small>	<b>給湯・排水時に熱湯に触れないこと</b> やけどの原因になります。 <small>禁止</small>
<b>異常・故障時には、直ちに使用を中止すること</b> 発煙、発火、感電、やけどの原因になります。 必ず実行 次のようなことがある場合は、すぐに使用を中止し、故障や事故防止のため、販売店（据付工事店）または修理受付フリーダイヤルに点検・修理（有料）をご相談してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用中にこげくさい臭いがしたり、異常な音や振動がする。</li> <li>・設置場所が濡れている。</li> <li>・お湯がぬるい。</li> <li>・温水器用の漏電しゃ断器が動作する。</li> <li>・その他の異常・故障がある。</li> </ul> <div style="text-align: right;">➡ 裏表紙 アフターサービス</div>	
<b>漏電しゃ断器の動作を確認すること</b> 漏電しゃ断器が故障のまま使用すると、漏電時に感電の原因になります。 必ず実行 <div style="text-align: right;">➡ P16 日常のお手入れ</div>	<b>おたすけコックは、タンクの湯温が下がってから使用すること</b> 取水時に熱湯が出たり、ホースが熱くなるなどでやけどの原因になります。 必ず実行

使用の前に

# 警告

## 給湯

<p> <b>給湯時は、じゃ口（湯水混合せん）のハンドル以外の部分に手を触れないこと</b> 禁止 やけどの原因になります。</p>	<p> <b>使いはじめは、しばらくお湯に触れないこと</b> 禁止 特に朝の使いはじめは、空気の混ざった熱湯が飛び散ることがあります。</p>
<p> <b>シャワー使用時や入浴時は、最初に手で湯温を確かめること</b> 必ず実行 やけどの原因になります。</p>	

ご使用前に

# 注意

## 電気温水器本体

<p> <b>特殊用途には使用しないこと</b> 禁止 一般家庭の使いかた以外では使用しないでください。能力不足や思わぬ電気料金がかかったり、製品の性能・品質低下や寿命が短くなることがあります。</p>	<p> <b>機器に乗ったり、物を乗せたり、配管に力を加えたりしないこと</b> 禁止 事故・やけど・水漏れの原因になります。</p>
<p> <b>タンクの熱湯は直接排水しないこと</b> 禁止 やけどや排水管を傷めることがあります。お湯を使い切ってから排水してください。</p>	<p> <b>水道水を使用していることを確認すること</b> 必ず実行 必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。井戸水・地下水・温泉水は使用できません。水道水であっても塩分・石灰分・その他不純物が多く含まれている水質や、酸性水質での使用はさけてください。機器の詰まりや腐食など故障の原因になります。</p>
<p> <b>凍結予防対策の確認をすること</b> 必ず実行 凍結するとタンクや配管が破損して、やけどや水漏れの原因になります。 ▶▶▶ P11 凍結予防のしかた</p>	<p> <b>1か月以上使用しないときは、水抜きをすること</b> 必ず実行 凍結のおそれや水質が変化することがあります。1か月未満の使用しないときでも凍結のおそれがあるときは水抜きをしてください。 ▶▶▶ P12 使用しないときは</p>
<p> <b>温水器の周りに落ち葉などがたまらないようにすること</b> 必ず実行 虫などが侵入し、故障や発火・発煙の原因になります。</p>	<p> <b>脚がアンカーボルトで固定してあるか確認すること</b> 必ず実行 地震などにより本体が倒れけがの原因になります。</p>
<p> <b>床面が防水・排水処理されていることを据付工事店へ確認すること</b> 必ず実行 水漏れが起きた場合、階下などに被害を及ぼすおそれがあり、大きな被害につながります。</p>	<p> <b>冬場に漏電しゃ断器の電源レバーを「OFF（切）」にするときは、水抜きを確実にすること</b> 必ず実行 配管が凍結し、水漏れの原因になります。 ▶▶▶ P12 使用しないときは</p>
<p> <b>本体操作部のふたは閉じておくこと</b> 必ず実行 ショート、感電の原因になります。</p>	<p> <b>逃し弁の点検をすること</b> 必ず実行 タンクが破損したり、逃し弁などからの水漏れにより、やけどや大きな被害につながります。 ▶▶▶ P16 日常のお手入れ</p>
<p> <b>タンクを満水にしてから電源を入れること</b> 必ず実行 故障の原因になります。 ▶▶▶ P8 準備</p>	<p> <b>タンクを満水にしてから電源を入れること</b> 必ず実行 故障の原因になります。 ▶▶▶ P8 準備</p>



### 注意

給湯



禁止

#### そのまま飲用しないこと

長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管の劣化などにより水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記のことにご注意し、必ず一度やかんなどで沸騰させてください。

- ・必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
- ・熱いお湯が出てくるまでの水（配管内にたまっている水）は雑用水としてお使いください。
- ・固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用せずに直ちに販売店（据付工事店）へ点検の依頼を行ってください。

使用の前に

## ご使用にあたってのお願い

### ●お湯を上手に使うこと

- 1日に使用できるお湯の量には限りがあります。
- ・お湯は容器に受けて使いましょう。
- ・シャワーは出し放しにしないでこまめに止めましょう。

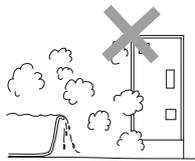


### ●夜間時間帯のご使用について

温水器は主に夜間時間帯にお湯を沸します。そのため、夜間時間帯にお湯を使用すると、翌日の湯量が少なくなったり、昼間に沸増しをして電気代が高くなったりすることがあります。

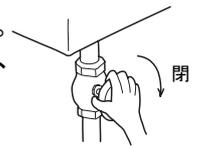
### ●温水器が浴室など湿気の多い場所に取り付けられていないか確認すること

- ・感電や誤動作の原因になります。
  - ・コントローラは、屋外や浴室などの湿気の多い場所やガス燃焼機器のそばなど高温になる所に取り付けられないでください。
- 誤動作の原因になります。



### ●機器の給水配管止水せんがどこにあるか確認すること

- ・タンク内の水抜き、万一の水漏れ、故障の際に閉じると水が止まります。
- ・ふだん温水器を使用しているときは、開いておきます。



### ●タオル、浴槽が青くなることがあります

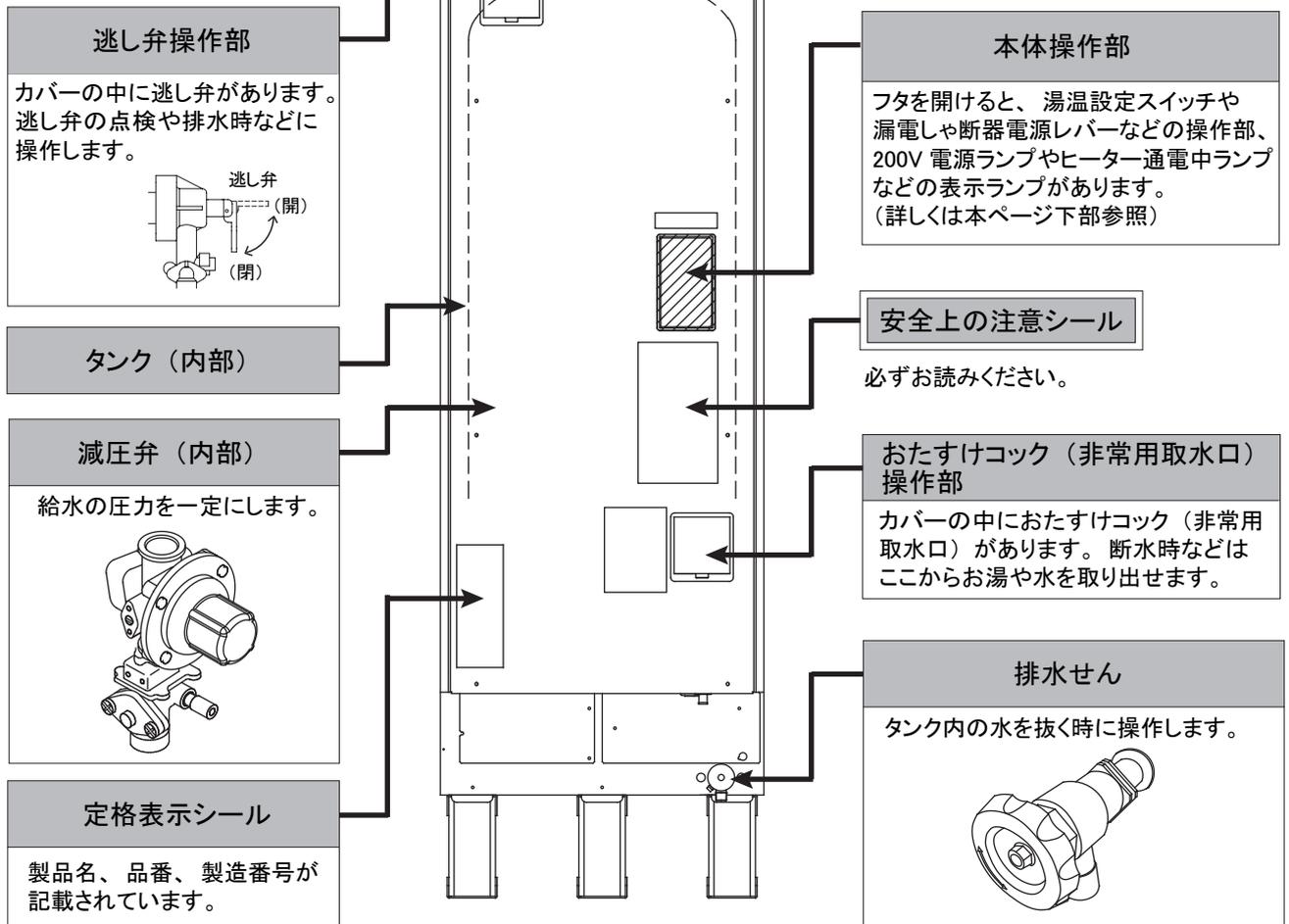
使用地域の水質や温水器の銅配管により薄青くなることがあります。これは、水中に溶け出したわずかな銅イオンとせっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応したもので、人体に害はありません。

### ●契約した電力制度を変更するときは、販売店へ連絡し、電気配線工事の依頼をすること

この温水器は深夜電力（8時間）契約と時間帯別電灯契約切替タイプです。契約の電力制度に合わせて電気配線工事と温水器本体の設定を切替える必要があります。誤った設定で使用すると、電気代が高くなる場合があります。

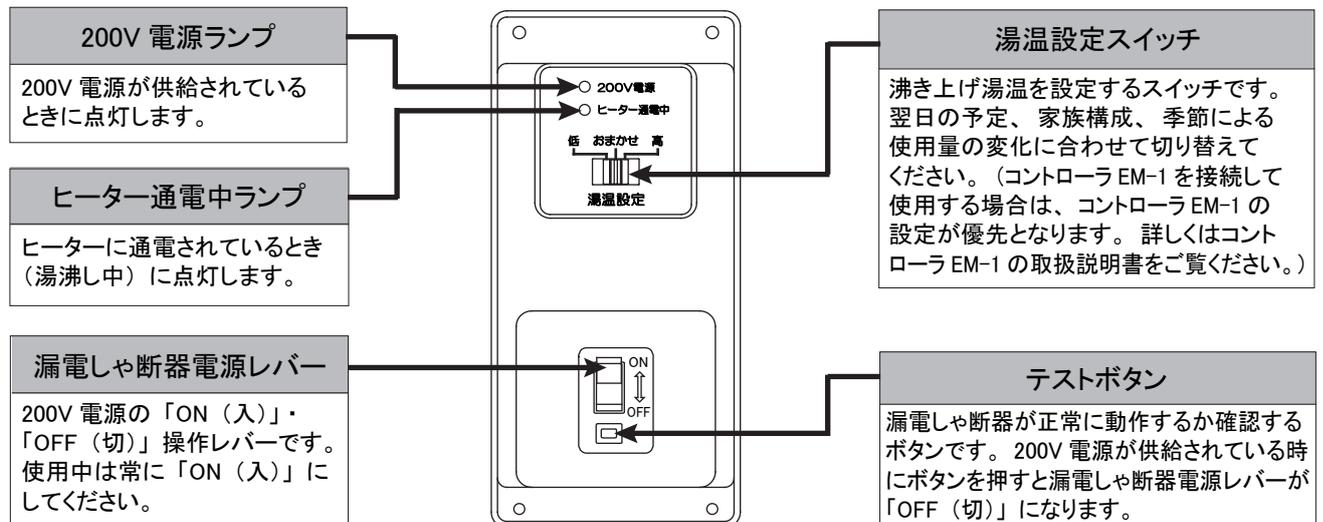
# 各部の名称と働き

## 電気温水器本体



ご使用前に

## 本体操作部



# 各部の名称と働き

## 本体据付図例

屋外設置標準配管例

地域や設置場所により工事内容が若干異なることがあります。

**タンク排水口** タンクの排水のときに、お湯や水が出ます。

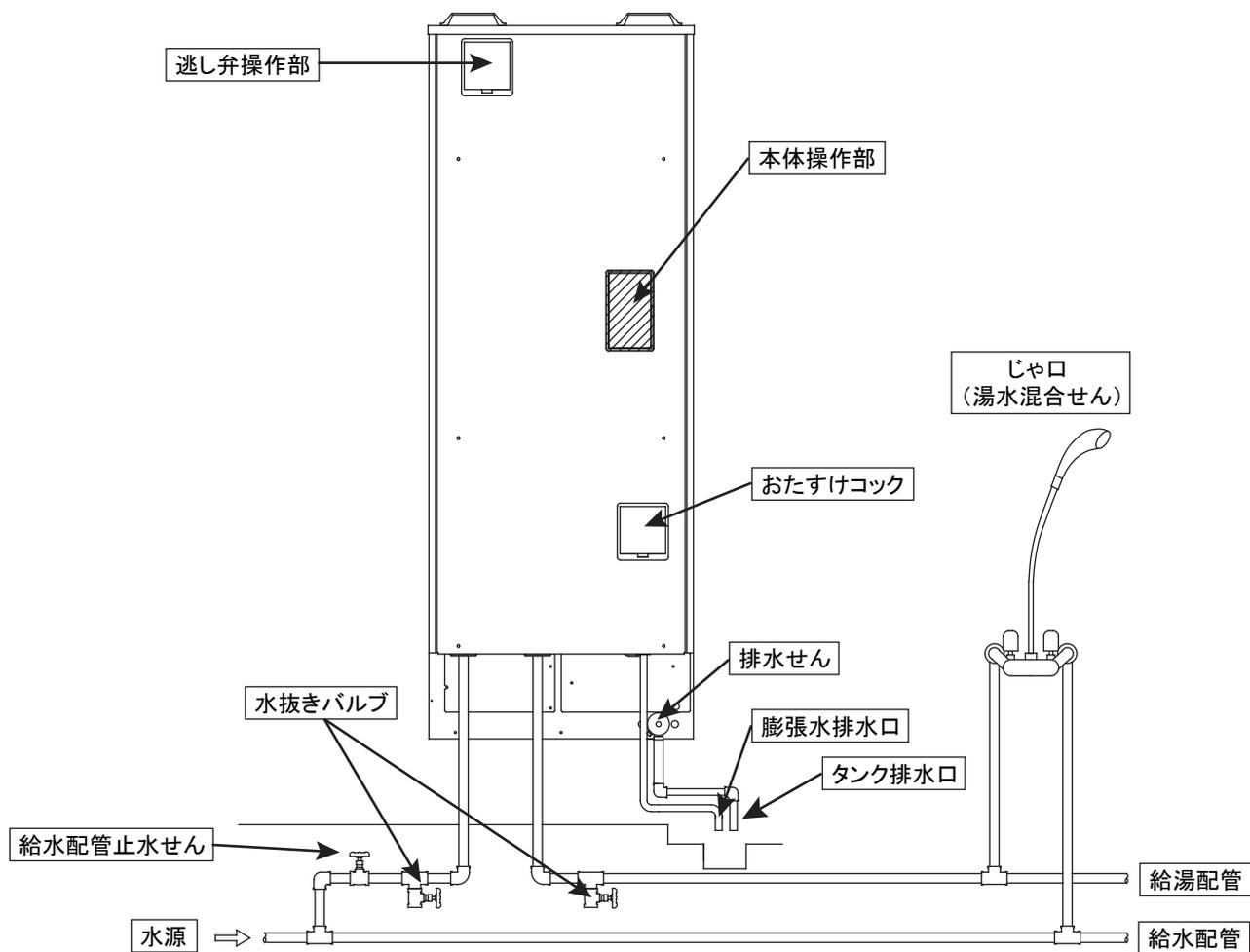
**膨張水排水口** 湯沸し時の膨張水が出ます。

**給水配管止水せん** 水源の「開」「閉」に使用します。

### 【お知らせ】

湯沸し時は、膨張水排水口より、お湯（水）が少量出ますが、故障ではありません。

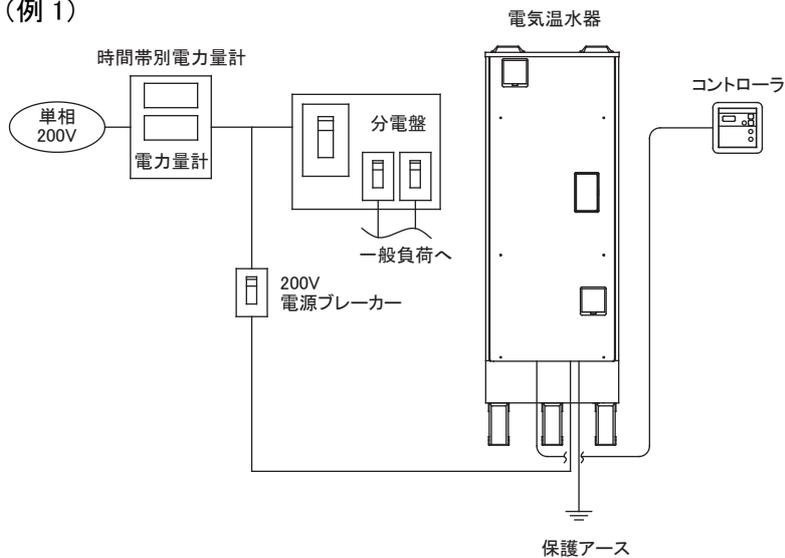
使用の前に



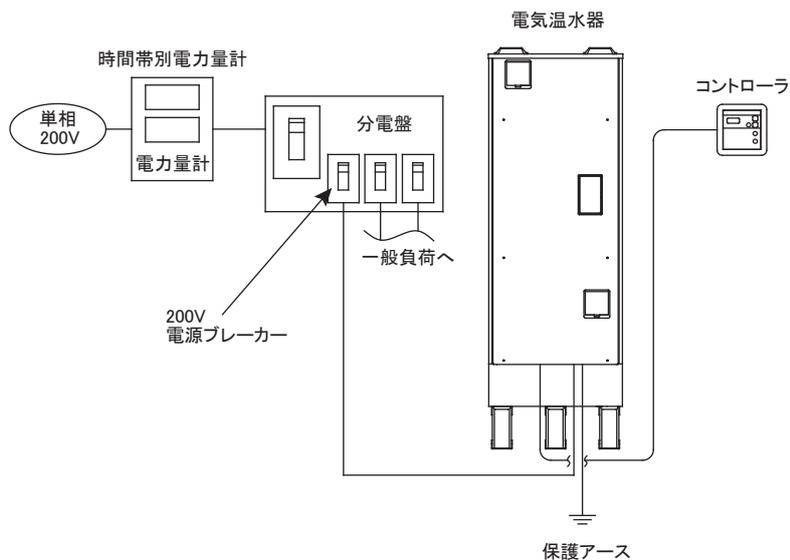
## 配線例

時間帯別電灯契約および深夜電力（8時間）契約の電気配線例  
電力制度及び電気配線回路は据付工事店に確認してください。

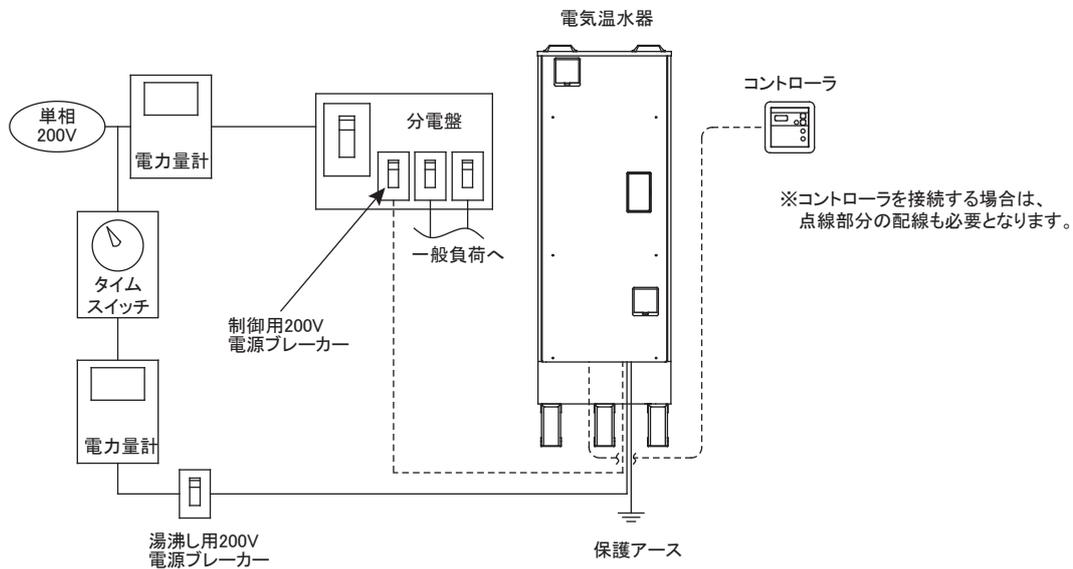
### ■時間帯別電灯契約（例1）



### ■時間帯別電灯契約（例2）



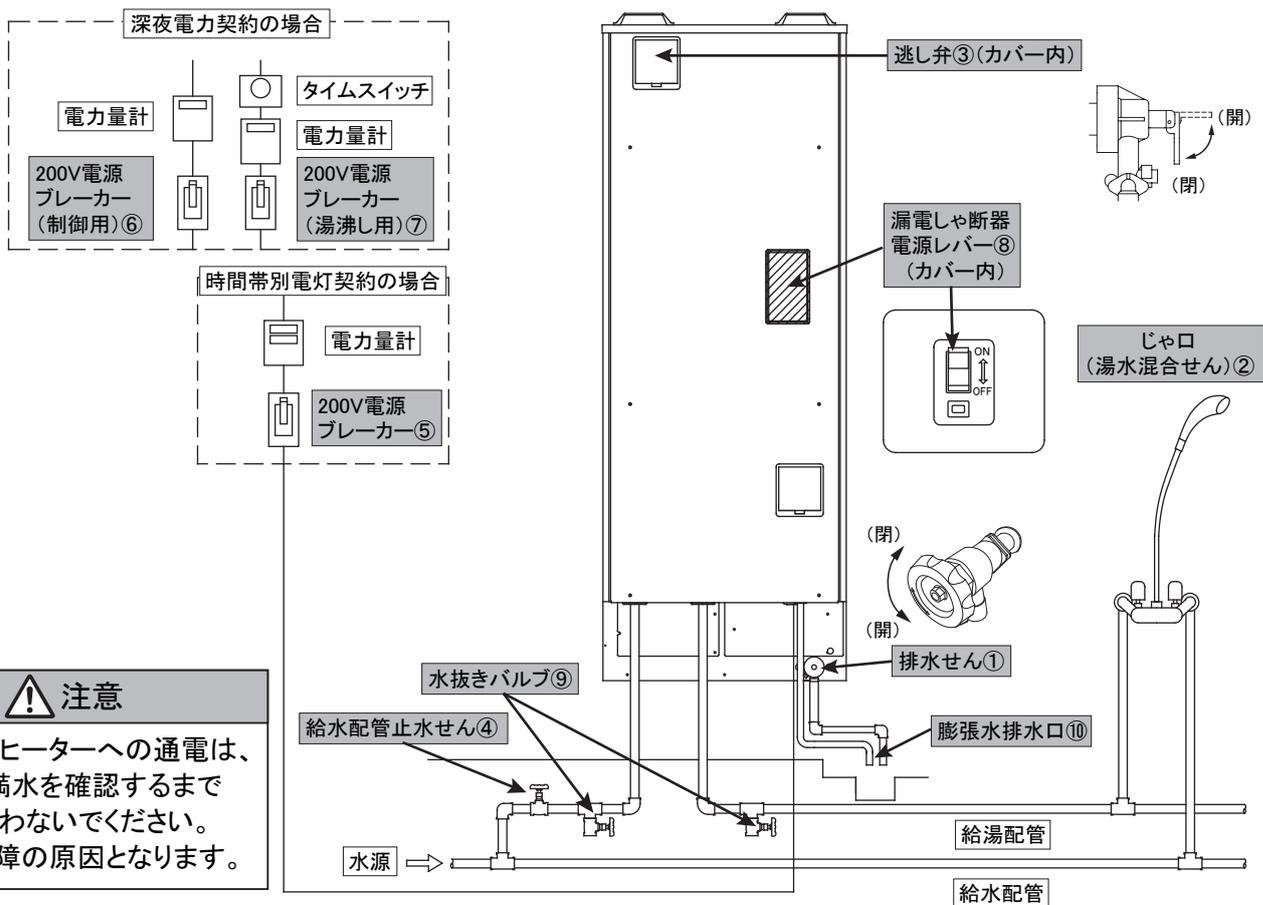
### ■深夜電力（8時間）契約



# 準備

温水器の使い始めや、水抜き後に温水器を使い始める場合は、次の手順で操作してください。  
方法がわからないときは、据付工事店（販売店）へご相談ください。

使用前に



## 注意

温水器のヒーターへの通電は、タンクの満水を確認するまで絶対に行わないでください。過熱し故障の原因となります。

## 1 給水の準備をします。

1. 排水せん①を閉じます。（使い始めなどですでに閉じている場合があります。）
2. すべてのじゃ口（湯水混合せん）②を閉じます。（開いていると給水に時間がかかることがあります。）  
給水配管、給湯配管に水抜きバルブ⑨が設けられている場合は、水抜きバルブ⑨も閉じます。

## 2 タンクを満水にします。

1. 逃し弁③のレバーを上げます。（水抜き後ですでにレバーが上がっている場合があります。）
2. 給水配管止水せん④を開きます。
3. 膨張水排水口⑩から水が勢いよく出てきたら、逃し弁③のレバーを下げます。
4. じゃ口（湯水混合せん）②を湯側全開で開けて、空気まじりの水から連続的に水が出ることを確認します。
5. じゃ口（湯水混合せん）②を閉じます。  
（やけど防止のため、混合水せんの温度調節位置を低温側に戻してください。）

### 【お知らせ】

- タンクが空の状態から、満水になるまで約 30 分かかります。（機種により多少異なります。）
- 給水中に膨張水排水口から水と空気が混ざりボコボコと音がありますが、異常ではありません。  
水が勢いよく出るまでお待ちください。

## 3 電源を入れます。

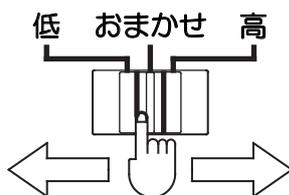
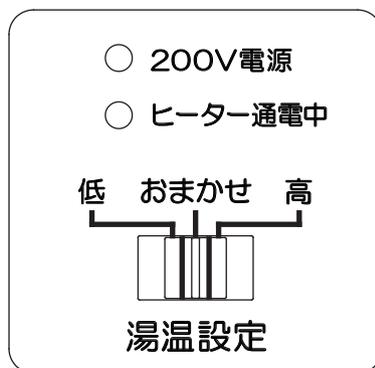
1. 200V 電源ブレーカー⑤（深夜電力契約の場合は 200V 電源ブレーカー（湯沸し用）⑦）を「ON（入）」にします。（深夜電力契約でコントローラ接続時は 200V 電源ブレーカー（制御用）⑥も「ON（入）」にします。）
2. 温水器の漏電しゃ断器電源レバー⑧を「ON（入）」にします。

# 湯温設定

コントローラ EM-1 を接続して使用される場合はコントローラの設定が優先となります。  
コントローラ EM-1 が接続されている場合は、コントローラ EM-1 の取扱説明書をご覧ください。

湯温設定はご家庭の湯の使用量に応じて切り替えてください。

湯温設定スイッチで沸き上げ温度を設定します。



使用量に合わせてお好みの量を選んでください。  
・お買い上げ時は「高」になっています。

湯温設定	沸き上げ温度	特徴
高 (初期設定)	約 88℃	・初めて使う場合など、お湯の使用量目安をつけるときに便利です。
低	約 70℃	・維持費が少なくなりますが、湯切れする可能性があります。
おまかせ	約 70 ~ 88℃	・お客様の過去の使用量をもとに、最適な湯温で沸かします。

※沸き上げ温度は沸き上がり直後のタンク内温度です。時間経過とともに少しずつ低下します。  
また沸き上がり温度は 1 ~ 3℃ばらつくことがあります。

## 【お知らせ】

○初回または停電復帰後のヒーター通電時は空焚きチェックを行います。

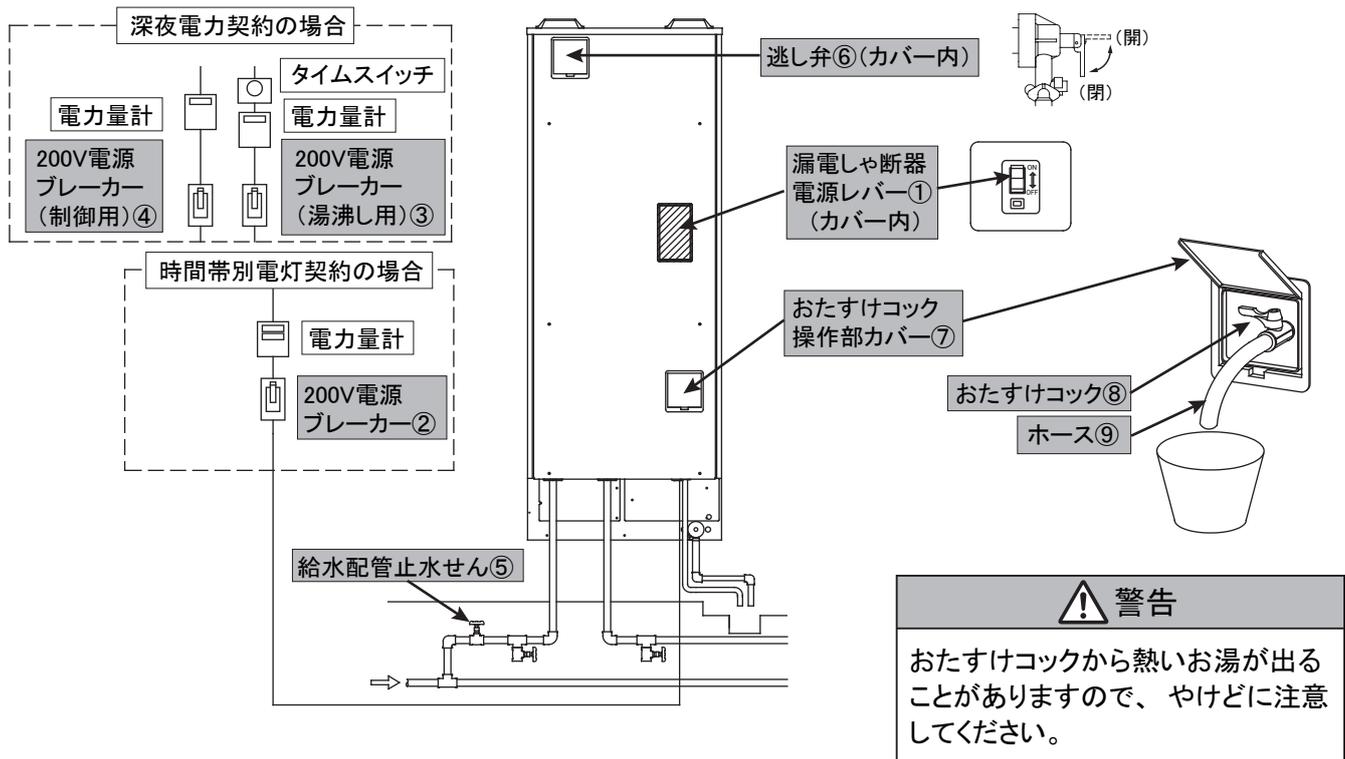
## ご注意

- 来客などでお湯をたくさん使用すると、湯切れすることがあります。あらかじめ前日以前に「高」設定に切り替えてください。また、時間帯別電灯契約をされている場合は、コントローラで「沸増し」を設定することもできます。
- 夜間時間帯に湯温設定を「高」に変更した場合は、湯温が設定温度より低くなる場合があります。
- 水温が極端に低く、残湯量が少ない場合に設定が「高」であっても沸き上がり温度が88℃より低くなる場合があります。
- 夜間時間帯にお湯を使用した場合、設定温度まで沸き上がらない場合があります。

# おたすけコックの使いかた

温水器の内部に、おたすけコックの水せんがあります。

万一の非常時にはおたすけコックの水せんからタンクの水（湯）を出して使用することができます。



- 1 漏電しゃ断器電源レバー①を「OFF (切)」にします。
- 2 200V 電源ブレーカー② (深夜電力の場合は③、コントローラが接続されている場合は④も) を「OFF (切)」にします。
- 3 給水配管止水せん⑤を閉めます。
- 4 逃し弁⑥のレバーを上げます。
- 5 おたすけコック操作部カバー⑦を開けて、ホース⑨を引き出します。
- 6 ホース⑨の下にバケツなどを準備し、おたすけコック⑧のレバーを開けます、タンク内の水（湯）が出てきます。
- 7 使用後は、おたすけコック⑧を閉じ、ホース⑨から水（湯）が出てこないことを確認してからホース⑨を戻してください。
- 8 おたすけコック操作部カバー⑦を閉じてください。

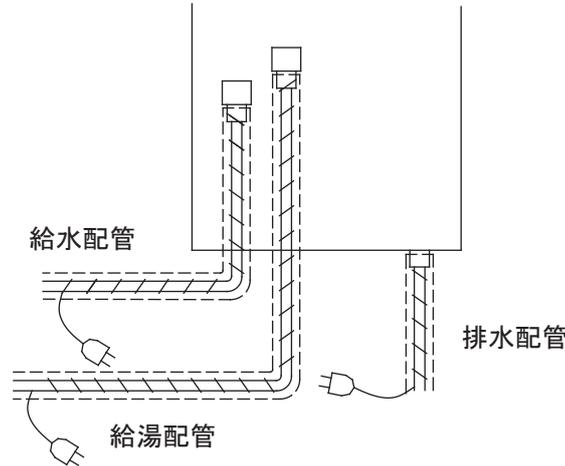
【お知らせ】 温水器を再使用するときは ➡ P8 準備

# 凍結予防のしかた

冬期は寒冷地だけでなく、温暖な地域でも思わぬ寒波で気温が0℃以下になることがあります。配管が凍結すると温水器が使えないばかりか、温水器や配管が破損することがあります。地域にあった方法で凍結予防をしてください。

## 凍結防止ヒーターを巻く方法

- ・ 配管に市販の凍結防止ヒーターを巻き、通電して凍結を予防します。
- ・ 寒冷時になる前に凍結防止ヒーターの差し込みプラグをコンセントに差し込んでください。



# 停電・断水・水道工事のときは

## 停電のとき

- ・ 停電中に給湯することはできませんが、湯沸しはできません。
- ・ 時間帯別電灯契約でご使用の場合、停電復帰後にコントローラの時刻を確認してください。

### ご注意 (時間帯別電灯契約でご使用の場合)

- 時刻が設定されていないと、湯沸しできません。
  - 時刻が正しく設定されていないと電気料金が割高になることがあります。
- ➡ コントローラ EM-1 の取扱説明書をご確認ください。

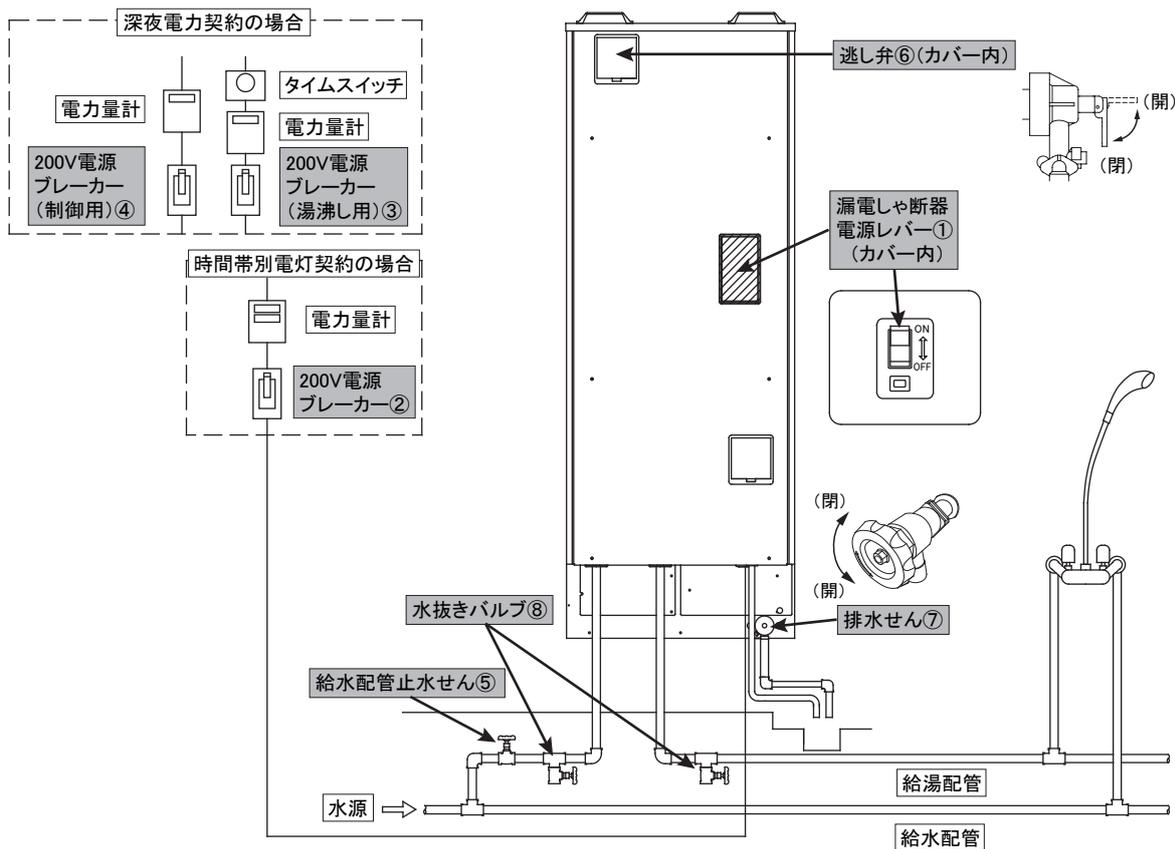
## 断水・水道工事のとき

- ・ 断水や水道工事のときは、給水配管止水せんを閉じてください。
- ・ 断水や水道工事終了後、じゃ口（湯水混合せん）の水側を開けて、濁った水が出なくなったのを確認してから給水配管止水せんを開けてください。

### ご注意

- 断水や給水配管止水せんを閉じるとタンク内に圧力がかからず、エラーが表示されることがあります。
- ➡ P20 故障・異常の見分け方と処置方法
- 濁った水が温水器本体内に入ると、減圧弁のストレーナを詰まらせてお湯の出が悪くなったり、タンク内のお湯を濁らせてしまう場合があります。また、故障の原因になります。

# 使用しないときは



## 長期不使用时 (温水器を1か月以上使用しないとき)

凍結によるタンクや配管の破損、水漏れの防止とタンク内の水を清潔に保つために水抜きをしてください。

### 警告

作業時は、熱いお湯が出ることがありますので、やけどに注意してください。

### ご注意

熱いお湯を流しますと排水管を損傷するおそれがありますので、お湯を使い切ってから排水してください。

- 1 温水器の漏電しゃ断器電源レバー①を「OFF (切)」にします。
- 2 温水器用 200V 電源ブレーカー② (深夜電力の場合は③、コントローラが接続されている場合は④も) を「OFF (切)」にします。
- 3 給水配管止水せん⑤を閉めます。
- 4 逃し弁⑥のレバーを上げます。

## 5 排水せん⑦を開きます。

排水するのに約30分～50分ほどかかります。(タンク容量等により異なります。)

給水配管、給湯配管に水抜きバルブ⑧が設けられている場合は、タンク排水後に開けて配管内の水抜きを行ってください。



**警告**

排水時は、排水せんのハンドル以外の部分やお湯に手を触れないでください。

再びご使用になるときは ■▶ P8 準備

## 短期不使用時 (温水器を1か月未満で使用しないとき)

1 漏電しゃ断器電源レバー①と温水器用の 200V 電源ブレーカー② (深夜電力の場合は③、コントローラが接続されている場合は④も) を「OFF (切)」にします。

2 給水配管止水せん⑤を閉じます。

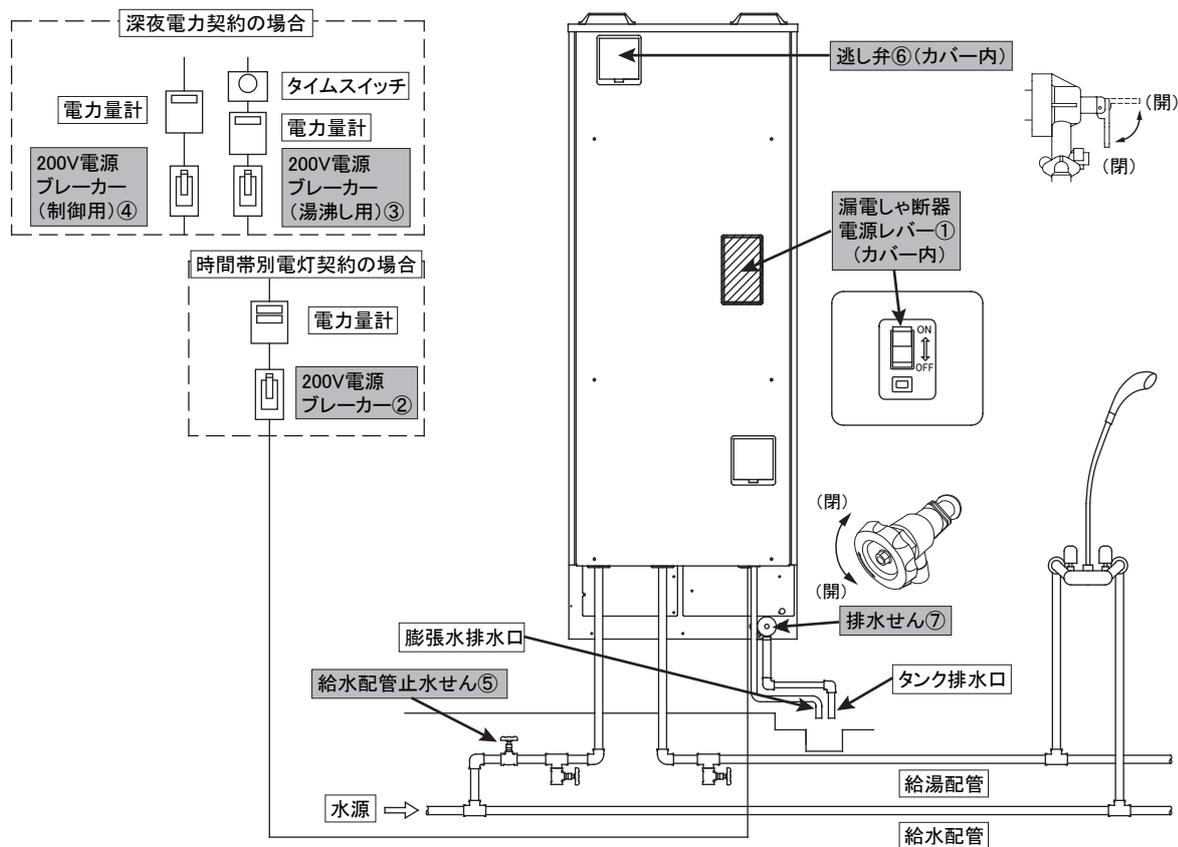
再びご使用になるときは、タンク内の水を入れ替えてからご使用ください。

### ご注意

凍結のおそれがあるときは、1か月未満の使用しないときでも「長期不使用時」の項にしたがって水抜きをしてください。

# 日常のお手入れ

長く快適にご使用いただくためには、日頃のお手入れが必要です。  
安全にお手入れしていただくために、ゴム手袋などの着用をおすすめします。



メンテナンス

## タンク内の清掃 (1年に2~3回)

### 警告

作業時は、熱いお湯が出ることがありますので、やけどに注意してください。

### ご注意

熱いお湯を流しますと排水管を損傷するおそれがありますので、お湯を使い切ってから排水してください。

- 1 温水器の漏電しゃ断器電源レバー①を「OFF (切)」にします。
- 2 温水器用の 200V 電源ブレーカー②(深夜電力契約の場合は③、コントローラが接続されている場合は④も)を「OFF (切)」にします。
- 3 給水配管止水せん⑤を閉めます。
- 4 逃し弁⑥のレバーを上げます。

- 5 排水せん⑦を2分程度開け、タンク下部にたまった汚れを流し出します。

**警告**

排水時は、排水せんのハンドル以外の部分やお湯に手を触れないでください。

- 6 排水がきれいになったら排水せん⑦を閉じます。

- 7 給水配管止水せん⑤を開き、膨張水排水口より水が勢いよく出れば逃し弁⑥のレバーを戻します。

**警告**

膨張水排水口より熱い湯が出ることがありますので、やけどにご注意ください。

- 8 温水器用の200V電源ブレーカー②(深夜電力契約の場合は③、コントローラが接続されている場合は④も)を「ON(入)」にします。

- 9 漏電しゃ断器電源レバー①を「ON(入)」にします。

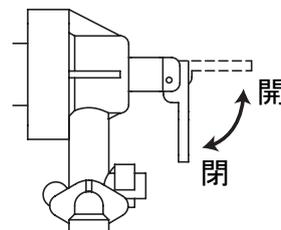
### 配管の確認 (日常)

配管の保温材破損や水漏れなどがいないか確認します。マンションなどの中・高層住宅で水漏れが起きた場合、階下に被害を及ぼすことがあります。

# 日常のお手入れ

## 逃し弁の確認 (1年に2~3回)

- 1 湯沸しをしていないとき（本体操作部のヒーター通電中ランプが消灯しているとき）に、膨張水排水口から水（お湯）が出ていないことを確認します。
- 2 逃し弁操作部のカバーを開け、逃し弁のレバーを上げて、膨張水排水口から水（お湯）が出ることを確認します。
- 3 レバーを下げて排水が止まることを確認します。



警告

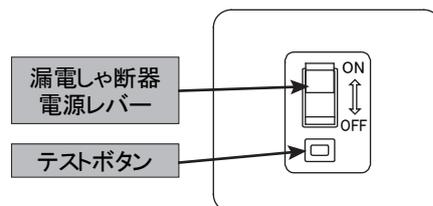
膨張水排水口より熱い湯が出る場合がありますので、やけどにご注意ください。

メンテナンス

## 漏電しゃ断器の動作確認 (1年に2~3回)

漏電しゃ断器の点検は電源供給中（200V 電源ランプ点灯中）に行ってください。

- 1 漏電しゃ断器のテストボタンを押します。  
電源レバーが自動的に「OFF（切）」になれば正常です。
- 2 電源レバーを「ON（入）」に戻します。



警告

- 漏電しゃ断器が故障のまま使用すると漏電時に感電するおそれがあります。
- 濡れた手で操作しないでください。感電するおそれがあります。

# 定期点検のおすすめ(有料)

温水器を長年にわたり安心して快適にご使用いただくためには、3年に1度専門技術者による定期点検(有料)を行ってください。定期点検を怠ると、家屋や家財などの損害に結びつく場合があります。

定期点検整備は、温水器本体・機能部品・消耗部品などの点検・交換・清掃を行います。

なお、給水用具(逆流防止装置)に関しては公益社団法人日本水道協会発行の維持管理指針に基づいて点検してください。時期は3年に1回程度をおすすめします。

減圧弁・逃し弁などは、設置条件・使用条件・特殊環境によっては劣化しやすい消耗部品であり、定期的な点検が必要です。

長年にわたり(10年程度)使用されている場合は、毎年「定期点検」をお受けください。

補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後7年です。長年使用されている場合、部品によってはご用意できない場合がありますので、ご容赦願います。

定期点検整備のお申し込みやお問い合わせは、お買い求めの販売店にご連絡ください。

## 定期点検整備の主な内容

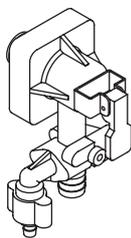
項目	内容
据付状態の点検	配管接続部の水漏れ確認、電気絶縁チェック、配管保温材の確認、設置面の確認
機能部品の点検	逃し弁の水漏れ確認、減圧弁の確認、給水用具(逆流防止装置)の確認、電気部品(配線・導通)動作確認、その他消耗部品の確認
清掃・整備	タンク下部のスケール沈殿物の排出、ストレーナ(フィルター)の清掃、機能部品の清掃

## 消耗部品について

逃し弁、減圧弁などは消耗部品です。水質などの使用環境や使用状況によっては、3年程度で劣化する場合があります。点検の結果、部品交換が必要な場合、部品交換に要する費用はお客様にご負担いただきます。

### 逃し弁

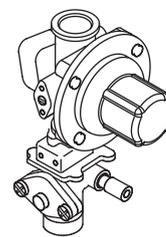
水質によっては、弁摺動部にスケールが付着したり、弁座シート部が磨耗して水漏れの原因になりますので交換が必要です。



逃し弁

### 減圧弁

水質によっては、減圧弁のダイヤフラム(ゴム製)の弁摺動部にスケールが付着したり、弁座シート部が磨耗して水漏れの原因になりますので交換が必要です。



減圧弁

○その他の消耗部品:ヒーター、パッキン類、ホース類、その他弁関係  
上記消耗部品の交換は当社の純正部品をご使用ください。

# よくあるご質問

## ●夜間になってもすぐに湯沸ししない

残湯がある場合や夜間の湯沸し目標湯量が少ない場合は、自動的に湯沸し開始時刻を遅らせて、朝方に沸き上がるようにします。(ピークシフト機能)

## ●設定した湯沸し温度まで上がらない(お湯の減りがはやい)

次の場合、設定温度まで沸き上がらないことがあります。

- ・夜間時間帯に湯温設定を上げた場合
- ・ヒーター通電中にお湯を使用した場合
- ・給水温度が低く、残湯量が少ない場合

## ●お湯から油が出る、お湯が臭い

初めてご使用のとき、お湯や水に油が浮くことがあります。これは、配管工事の際の油が残っているためです。1週間くらい使用すると消えて正常になります。

## ●浴槽の水が青く見える

光の波長の関係や浴槽の色などによって浴槽の水が青く見えることがあります。また銅配管から溶出したわずかな銅イオンによって浴槽や洗面部材などが青くなるがありますが、異常ではありません。これは使用地域の水質や温水器などの銅配管から溶けだした微量の銅イオンが湯あかや石けん等の脂肪酸と反応して、青い銅石けんとなって付着するためです。(人体に害はありません)

## ●お湯が白く濁って見える

水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されるため、細かい気泡となって出てくる現象で、全くの無害です。

## ●お湯に塩素系消毒液などを混ぜると黒く濁る

温水器のヒーター表面にはニッケルメッキを施しています。水質によっては微量のニッケルがお湯に溶け、塩素系消毒液などと反応して、まれに黒く濁ることがあります。消毒液の使用説明書をよく読んでお使いください。

## ●膨張水排水口からお湯が出ている

ヒーター通電中(ヒーター通電中ランプ点灯時)に膨張水排水口よりお湯が出るのは故障ではありません。

タンク内の水がお湯になるときの膨張水が膨張水排水口から排水されます。一晩で約10~13L(タンク容量等により異なります)程度排水されます。

# 故障・異常の見分けかたと処置方法

## 故障かな？と思ったら

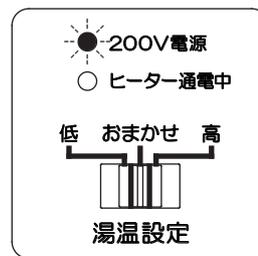
こんなとき	原因	処置と確認内容
お湯が出ない お湯の出が悪い	断水している	水道局にお問い合わせください (断水が終わるまでお待ちください)
	給水配管止水せんが閉じている	給水配管止水せんを開いてください
	2か所以上で同時に使用している	同時に使用するとお湯の勢いが弱くなります
	配管が凍結している	販売店にご相談ください
	減圧弁のストレーナが目詰まりしている	
お湯が沸かない	200V電源ブレーカーが「OFF(切)」になっている	「OFF(切)」になっているときは「ON(入)」にしてください ※2、3度続く場合は故障のおそれがありますので、 販売店にご相談ください
	本体の漏電しゃ断器が「OFF(切)」になっている	
	* コントローラの湯沸し停止日数が設定されている	コントローラEM-1の取扱説明書を確認し、設定を行ってください
	* コントローラの時刻が設定されていない	
お湯が不足する お湯がぬるい	湯温設定が使用量よりも少なめになっている	湯温設定を適当な湯温に設定し直してください (▶▶ P9) (コントローラを取り付けている場合は、 コントローラの湯沸しモード設定が優先されます)
	配管などが濡れている	販売店にご相談ください
	いつもに比べてお湯を使いすぎている	翌日までお待ちください または時間帯別電灯で契約されている場合は、 沸増しの設定を行い、沸増しをしてください (コントローラEM-1の取扱説明書を確認し、設定を行ってください)
	タンクへの給水温度が低い	
	前日の夜間湯沸し中にお湯を使った	
	湯沸し中以外のときに、逃し弁の膨張水排水口からお湯や水が流れている	逃し弁の確認をしてください (▶▶ P16) ※お湯や水が止まらないときは販売店にご相談ください
* コントローラが表示しない	200V電源ブレーカーが「OFF(切)」になっている	「OFF(切)」になっているときは「ON(入)」にしてください ※2、3度続く場合は故障のおそれがありますので、 販売店にご相談ください
	停電している	停電が終わるまでお待ちください

※ \* 印はコントローラEM-1を取り付けている場合に確認していただく項目です。

# 故障・異常の見分けかたと処置方法

## 温水器本体のエラー表示

電気温水器に故障が起きた場合は、本体の表示ランプ「200V電源」、「ヒーター通電中」が点滅し故障内容をお知らせします。  
(200V電源が供給されていないときは、エラー表示できません)



○ : 消灯      ● : 点灯      ●●● : 点滅

内容(原因)	200V電源ランプ	ヒーター通電中ランプ	処置
空焚き情報 (タンクに水がない)	●	●●● (点滅周期:1秒)	満水を確認してください
タンク圧力低下	●●● (点滅周期:4秒)	●●● (点滅周期:4秒)	給水配管止水せんが開いているか確認してください
その他	●●● (点滅周期:1秒)	※ ○	お買い上げの販売店にご連絡ください。 (エラー表示しても湯沸ししますが、「高」設定の場合、沸き上げ温度は約70℃となります)
	●●● (点滅周期:1秒)	●●● (点滅周期:1秒)	お買い上げの販売店にご連絡ください

※ヒーター通電中はヒーター通電中ランプが点灯します。

## コントローラにエラーが表示された場合

コントローラ EM-1 (別売) を取り付けられた場合、コントローラの時刻表示部にもエラー内容を表示します。

<エラー表示例>

エラー表示  
(点滅)



### ■お知らせ表示

下記にしたがって処置しても、再び表示したり不具合がある場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

エラー表示	内容(原因)	処置方法	エラー表示の解除方法
E61	空焚き情報(タンクに水がない)	満水を確認してください	200V電源ブレーカー(深夜電力契約の場合は、制御用)の「OFF(切)」後、「ON(入)」操作で解除
E71	タンク圧力低下	給水配管止水せんが開いているか確認してください	正常復帰時自動解除
E81	湯沸し用電源の異常 (電源が供給されない)	200V電源ブレーカー、漏電しゃ断器が「ON(入)」になっているか確認してください	正常復帰時自動解除

### ■漏水検知仕様(品番の末尾に「L」がついているもの)のみに表示されるエラー表示

下記の処置をして、お買い上げの販売店にご連絡ください。

エラー表示	内容	処置方法
E73	温水器内で水漏れしている可能性があります	200V電源ブレーカーを切り、給水配管止水せんを閉じてから、お買い上げの販売店にご連絡ください

### ■その他の表示

下記の処置をして、お買い上げの販売店にご連絡ください。

エラー表示	内容	処置方法
E**	温水器の点検が必要です	200V電源ブレーカーを切り、給水配管止水せんを閉じてから、お買い上げの販売店にご連絡ください その際は、製品名・品番・症状・エラー表示内容を合わせてご連絡ください

こんなときは

# 仕様

品番(機種名)		EM-3714KU	EM-3714KUL	EM-4614KU	EM-4614KUL
適用電力制度		深夜電力8時間(通電制御型) / 時間帯別電灯(通電制御型) 切替型			
設置場所		屋外・屋内兼用			
タンク容量		370L		460L	
非常用有効貯水量		275L		365L	
定格	電源	単相200V 50/60Hz (湯沸し用・制御用共)			
	最大消費電力	4.403kW		5.403kW	
	ヒーター消費電力	4.4kW		5.4kW	
	制御用消費電力	3W			
沸き上げ温度		高(88℃)、低(70℃)、おまかせ(70~88℃)			
外形寸法(mm)	高さ	1860mm		2165mm	
	幅	630mm		630mm	
	奥行き	730mm		730mm	
質量(kg)	本体	71kg		79kg	
	満水時	441kg		539kg	
給水方式		水道直結(減圧弁内蔵)			
最高使用圧力		170kPa			
減圧弁設定圧力		150kPa			
安全装置		漏電しゃ断器、温度過昇防止装置、アース端子			
漏水検知機能		-	漏水センサー(フロート式)	-	漏水センサー(フロート式)
本体操作部		湯温設定スイッチ(低・高・おまかせ)、漏電しゃ断器(電源レバー・テストボタン)			
本体表示部		200V電源ランプ、ヒーター通電中ランプ			
接続口径	給水接続口	R3/4ねじ(20A)			
	給湯接続口	R3/4ねじ(20A)			
	タンク排水接続口	R1/2ねじ(15A)			
	膨張水排水口	φ16ホース口			

※この製品は、時間帯別電灯契約および深夜電力(8時間)契約の電力制度に対応します。

ただし、時間帯別電灯契約で使用の場合は、別売のコントローラ(コントローラEM-1)が必要です。

※深夜電力(8時間)契約で使用の場合は、ご希望により別売のコントローラ(コントローラEM-1)を接続して使用することができます。その際、深夜電力電源(湯沸し用:単相200V)の他に、常時電力電源(制御用:単相200V)が必要です。

( ■▶ P7 各部の名称と働き)

# 事業所設置の際の規定事項

## 事業者様へのご案内

「労働安全衛生法施行令」改正について

1998年12月、「労働安全衛生法施行令」が改正され電気温水器のタンク内圧が従来の「100kPa以下」から「200kPa以下」へと緩和され、高圧力型電気温水器の製造販売が認可されました。

労働安全衛生法施行令の規程において、従来の電気温水器は「簡易ボイラー」に区分されますが、高圧力型電気温水器は「小型ボイラー」に区分されます。

この取扱説明書に記載されている機種(EM-3714KU、EM-4614KU、EM-3714KUL、EM-4614KUL)は、高圧力型電気温水器です。

簡易ボイラー:事業所、一般家庭に設置できます。

設置する際には、労働基準監督署への設置届けが不要で、定期自主検査の義務也没有ありません。

小型ボイラー:労働安全衛生法施行令の改正により、小型ボイラーの対象範囲のうち伝熱面積40kW以下、水頭圧100kPaを超え200kPa以下の給湯器を一般家庭に設置する場合は、簡易ボイラー同様設置届け、定期自主検査の義務はありません。なお、日常のお手入れは必要です。

事業所に設置する際には、労働基準監督署への設置届けが必要になり、定期自主検査、特別教育、事故報告も必要になります。

※事業所とは広く家庭用以外の用途で使用される場所を指します。ただし、同居の親族のみが使用する事業所は適用からはずれます。

安全にお使いいただくために、必ずお読みになってから次の4つの項目を実施してください。なお、届出は事業者様が行うことになっています。

### ●設置報告

事業者様は高圧力型電気温水器を設置するとき、所轄労働基準監督署長に設置報告書を提出することが義務づけられています。

### ●定期自主点検

事業者様は高圧力型電気温水器の取扱いの業務に労働者をつかせるときは、安全のために定期自主検査を実施することが義務づけられています。

### ●特別教育

事業者様は高圧力型電気温水器の取扱いの業務に労働者をつかせるときは、安全のために特別教育を実施することが義務づけられています。

### ●事故報告

高圧力型電気温水器の事故等が発生したとき、事業者様は事故報告書を所轄労働基準監督署長に提出することが義務づけられています。

## 事業所設置の際の規定事項

### ●設置報告(適用法令→ボイラー及び圧力容器安全規則第91条)

小型温水ボイラーを設置したときは、設置場所付近の状況や当該ボイラーが構造規格に適合しているかどうかを確認する必要がありますので事業者様は、小型ボイラー設置報告書に構造図※1及び小型ボイラー明細書※1並びに小型ボイラーの設置場所周囲の状況を示す図面※2を添えて、所轄労働基準監督署長に提出してください。小型ボイラーを同一事業場内で移転した場合には、新たな「設置」があったものとみなされ、小型ボイラー設置報告書の提出が必要になります。

※1 同梱されている明細書・構造図を使用して設置届けを行ってください。

※2 事業所内での小型温水ボイラーの設置位置を記載した地図を書いてください。

### ●定期自主検査(適用法令→ボイラー及び圧力容器安全規則第94条)

事業者様は小型温水ボイラーの使用を開始した後、1年ごとに1回、定期的に次の項目について自主検査を行ってください。

本体	・製品本体からの水漏れの有無 ・逃し弁の動作状態および漏れの有無 ・漏電しゃ断器の動作状況 ・タンクの手入れ
配管	・損傷と漏れの有無

検査方法の詳細は、取扱説明書の「日常のお手入れ」(▶ P14)を参照してください。

なお、自主検査を行った後は、検査結果を記録用紙に記入し、3年間保存してください。

### ●特別教育(適用法令→ボイラー及び圧力容器安全規則第92条)

事業者様は小型温水ボイラーの取扱いの業務に労働者をつかせるときは、当該労働者に対し、安全のための特別教育を行ってください。

#### 特別教育の科目

- ① ボイラーの構造に関する知識
- ② ボイラーの付属品に関する知識
- ③ 関係法令
- ④ 小型ボイラーの運転および保守
- ⑤ 小型ボイラーの点検

事業者様は、特別教育を行ったときは、当該特別教育の受講者、科目等の記録を作成して、これを3年間保存してください。なお特別教育の科目の全部又は一部について十分な知識及び技能を有していると認められる労働者は、当該科目について特別教育を省略することができます。

同梱の取扱説明書を使用して、製品の取扱い説明を行ってください。

### ●事故報告(適用法令→労働安全衛生規則第96条)

事業者様は、小型ボイラーの破裂の事故などが発生したときは遅滞なく、様式第22号による報告書を所轄労働基準監督署長に提出してください。

# アフターサービス

## 【サービス（点検・修理）を依頼される前に】

よくあるご質問（▶ P18）の項と故障・異常の見分け方と処置方法（▶ P19～20）の項をもう一度ご確認ください。確認の上でそれでも不具合のある場合あるいは不明な場合は、ご自分で修理なさらないで買い上げの販売店、またはフリーダイヤルへご連絡ください。

## 【保証について】

- ・本製品には保証書がついています。（別添）
- ・「保証書」はお買い求めの販売店が、お買い上げ日など所定事項を記入しますので、記載内容をご確認いただき、保証規定をよくお読みのうえ大切に保管してください。
- ・保証期間中は保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。
- ・保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の内容をよくご確認ください。

保証期間は  
お買い上げ日より  
本体：1年間  
タンク：5年間 です。

## 【補修用性能部品の保有期間について】

- ・この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後7年です。
- ・補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 【故障・修理の際の連絡先】

- ・保証期間経過後、修理を依頼されるときは、まずお買い上げの販売店に相談してください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
- ・アフターサービスのご依頼や不明な点のお問い合わせは、お買い上げの販売店へご連絡ください。また、販売店連絡先がおわかりにならない場合は、下記フリーダイヤルにご連絡ください。

 0120-557-910

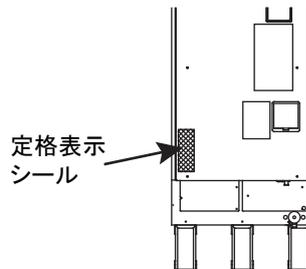
受付時間9:00～18:00  
(土日祝、夏期・年末年始休業日を除く)

※PHS・携帯電話・IP電話等で一部通話ができない場合があります。

## 【修理を依頼される際のお願ひ】

アフターサービスをお申し付けの際は、次のことをご知らせください。

- (1) 製品名、品番、製造番号（定格表示シールに記載）
- (2) 異常の状況
- (3) ご購入年月日
- (4) お名前、ご住所、お電話番号



## 【修理料金のしくみ】

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

タカラスタンダードお客様サポートサイト <http://www.takara-standard.co.jp/support/index.html>

インターネットでの修理のご依頼も可能です。

- 〈修理のご依頼〉 修理のご依頼をインターネットより受け付けております。修理受付後、弊社修理窓口よりお電話でご連絡させていただきます。
- 〈よくあるご質問〉 お客様よりお問い合わせいただくことの多い質問をまとめています。修理やお問い合わせの前に参考にしてください。

## ※お客様の個人情報について

個人情報保護に関する法令を厳守し、個人情報保護に関する基本方針を定め、関係会社を含めた全社に徹底を図っております。詳細はタカラスタンダードホームページをご覧ください。

## 【廃棄について】

この商品を廃棄する場合は、必ず公的な許可を受けている処理業者にご依頼ください。

## 愛情点検 ※ 長年ご使用の電気温水器の点検を！



こんな症状はありませんか

- ・設置場所が濡れている。
- ・お湯がぬるい。
- ・お湯が熱い。
- ・漏電しや断器が自動的に「OFF(切)」になる。
- ・湯沸し中以外に逃し弁から水が漏れる。
- ・その他の異常・故障がある。

ご使用中止

事故防止のため、200V電源ブレーカーを切り、給水配管止水せんを閉めてから、販売店（据付工事店）または、修理受付フリーダイヤルに点検・修理（有料）をご相談ください。

**タカラスタンダード株式会社**

本社 〒536-8536 大阪市城東区鳴野東1丁目2番1号

17C-2

EM3714KU 取説